

# 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

令和2年7月理事会議事録

日 時	令和2年7月8日(水) 15:00~17:00		
開催場所	山王健保会館、Zoom会議室		(★) =ZOOM参加者
<出席理事・監事>			
会 長	荻原 紀男	株式会社豆蔵ホールディングス	
筆頭副会長	水谷 学 (★)	ピー・シー・エー株式会社	
副 会 長	青野 慶久 (★)	サイボウズ株式会社	
	伊藤 裕二	株式会社フォーラムエイト	
	杉本 淳一	株式会社コスモ・コンピューティングシステム	
	田中 邦裕	さくらインターネット株式会社	
	豊田 崇克	ネクストウェア株式会社	
専務理事	笹岡 賢二郎	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会	
名誉会長 理事	和田 成史	株式会社オービックビジネスコンサルタント	
理 事	牛田 勉 (★)	SAPジャパン株式会社	
	襟川 芽衣 (★)	コーエーテクモホールディングス株式会社	
	大塚 桂一 (★)	インテル株式会社	
	大塚 裕司 (★)	株式会社大塚商会	
	大三川 彰彦 (★)	トレンドマイクロ株式会社	
	岡本 浩一郎	弥生株式会社	
	小川 敦	株式会社アール・アイ	
	小瀬 充	株式会社ラネクシー	
	加藤 智巳	株式会社ラック	
	北原 佳郎 (★)	ラクラス株式会社	
	木田 徳彦	株式会社インフォテック・サーブ	
	黒崎 秀二 (★)	日本事務器株式会社	
	小柳 諭司 (★)	株式会社内田洋行	
	後藤 泰佐	株式会社インテリジェント ウェイブ	
	鈴木 正之	株式会社ピーエスシー	
	瀧 進太郎 (★)	BBソフトサービス株式会社	
	富田 祐子 (★)	センターフィールド株式会社	
	中谷 昇 (★)	ヤフー株式会社/Zホールディングス株式会社	
		/一般社団法人日本IT団体連盟	
	中村 憲司	株式会社大和コンピューター	
	萩原 健太	インターバルリンク株式会社/グローバルセキュリティエキスパート株式会社	
	原 洋一	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会	
	板東 直樹	アップデートテクノロジー株式会社	
	東尾 公彦 (★)	コナミホールディングス株式会社	
	干潟 康夫 (★)	TAC株式会社	
	藤井 洋一 (★)	日本ナレッジ株式会社	
	別所 直哉	ルークコンサルタンツ株式会社	
	松倉 泉	株式会社H a r n e s s L L P	
	松本 洋介	株式会社コラボスタイル	
	村瀬 正典	株式会社バース情報科学研究所	
	吉田 一也 (★)	株式会社アスペックス	
監 事	齋藤 康之	税理士齋藤康之事務所	
	三木 剛	中本総合法律事務所 東京事務所	
オブザーバー	田中 久子	SOMP Oシステムズ株式会社	
	田辺 雄史	経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課 課長	
	松本 理恵	経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課 課長補佐	
事務局	井上、戸島、中野、鈴木、横井		
<欠席理事・監事>			
理 事	浦川 伸一	SOMP Oシステムズ株式会社	

監 事 細井 智 日本マイクロソフト株式会社  
山田 隆明 山田隆明公認会計士事務所

始めに、経済産業省商務情報政策局 情報技術利用促進課 田辺雄史課長より着任のご挨拶、および、最近の行政報告があり、いくつかの質疑応答が行われた。

## 議事

定款第 34 条に基づき荻原紀男会長(代表理事)が議長となり、開会を宣言した。原洋一理事・事務局長から、理事 41 名中オンライン出席も含め 38 名出席により、定款第 35 条に基づき、理事会が適法に成立した旨の報告があった。また、議事録作成後、定款第 37 条に基づき、本理事会に出席のあった荻原紀男会長、齋藤康之監事、三木剛監事が、議事録署名人として記名押印する旨、説明の後、議事に入った。

## 新理事からの挨拶

荻原紀男会長より、6月の定時総会で承認された新理事の紹介があり、各新理事より挨拶があった。

## 審議事項 1 会員感謝の集い(仮)開催について

笹岡賢二郎専務理事より、資料に基づき、「会員感謝の集い(仮)」の開催について、下記の通り説明があり、緊急事態宣言が再度発出されるなど新型コロナウイルス感染予防上の著しい支障がないことを前提に、原案通り承認された。村瀬正典理事より全理事に対して、本イベントで企画中の抽選会における景品提供について協力依頼があった。

開催についての概要は、以下の通り。

- ・名称 会員感謝の集い
- ・開催日時 令和 2 年 9 月 25 日(金) 17:00~19:00
- ・会場 The Okura Tokyo「平安の間」(最大 1000 名規模の会場)
- ・対象 CSAJ 会員(正会員は 1 社 2 名まで無料)
- ・定員 最大: 500 名程度(立食)  
※検温、消毒、マスク着用などの対策を実施
- ・次第(案) 会長挨拶  
新役員体制紹介  
新入会員紹介(2019 年 10 月~2020 年 9 月までの入会企業)  
景品抽選会/パフォーマンス等

## 審議事項 2 今後の理事会開催について

荻原紀男会長より、今後の理事会の開催時期及び開催場所の一部変更について提案があり、原案通り承認された。

	会期	開催地(オンライン開催併用)
9月理事会	9月9日(水)	京都(嵐山 熊彦)
11月理事会	初旬	北海道(札幌)
1月理事会	下旬	沖縄
3月理事会	3月10日(水)	東京(山王健保会館)

これに対する主な意見は、以下の通り。

- ・会員拡大の為に地方に根を張っていくことが大事ではないか
- ・理事会の本質は「議決を取る」と「交流を図ること」である。今回、ZOOM参加と実会議とを併用する事で遠隔からでも参加ができることが証明された。今後の理事会の在り方として、若手経営者にも理事会に参加させることや地方の自治体と交流をはかるのはどうか
- ・理事会が地方での遊びと誤解を招くことにならないように気をつけたい(目的を明確に)
- ・オンラインで理事会を行う際、インターネットの環境整備が大事である

## 審議事項3 新入会員承認の件(追加議案)

笹岡賢二郎専務理事より、入会を希望する以下3件(正会員3件)の説明があり、原案どおり承認された。

正会員(3件) 株式会社カオピーズ

イーテクノロジー株式会社  
株式会社ミネルバ・スピード・コミュニケーション

また、前回の理事会で意見があった「休会」（復帰が前提）の取り扱いについては、内規と休会届書を作成した旨の説明があり、今後は以下の手順で運用することが承認された。なお、杉本淳一副会長からは、休会の手段がある旨説明することで、いかに退会を減らすかが大事であるとの意見があった。

<運用の概要>

対象：災害や新型コロナウイルスのような疫病などにより経済的ダメージを被り、一時的に会員の継続が困難となった会員企業  
期間：最大1年間の休会を許可する  
内規：休会ガイドライン（案）を事務局内規として制定  
申請：休会届書（案）を事務局に申請  
（専務理事承認、理事会には報告）

#### 審議事項4 臨時総会の開催について（追加議案）

笹岡賢二郎専務理事より、令和2年度よりCSAJが厚生労働省から受託した「就職氷河期世代の方向けの短期資格等取得コース事業」を実施するにあたり、定款の一部変更が必要であることから臨時総会を下記の日時で行う旨説明があり、原案通り承認された。

令和2年度臨時総会開催概要(案)

日時：令和2年8月18日(火)16:00開始

場所：CSAJ会議室

議案：定款の一部変更について

（第4条（事業）第7項に「及び当該人材の無料職業紹介」を追加する。）

#### 検討事項1 会員アンケート報告と対策検討

笹岡賢二郎専務理事より、2020年5月25日(月)～6月5日(金)の期間で、新型コロナ禍における会員動向調査のアンケート結果のCSAJに対する意見・要望について報告があった。荻原紀男会長より、オンラインでは疎遠になりやすく退会につながるものが懸念される、会員の為になる情報を発信していくべきだとの意見があった。

#### 検討事項2 With コロナの活動について（CSAJ基本スタンス）

笹岡賢二郎専務理事より、今後のセミナー・イベント等の開催については、オンラインとハイブリッドを併用していく旨説明があった。

（オンライン）

・全ての参加者はオンライン配信型セミナー／オンラインミーティング（意見交換可能）に参加。

（ハイブリッド）

・CSAJ 会議室にてソーシャルディスタンスを保って参加（15名程度）およびオンライン参加混在型。

会議室参加者には検温、手指の消毒、マスク着用を励行。

なお、水谷学筆頭副会長より、会議室参加の際は、新型コロナウイルス対策をきちんと行い、安全に会合を運営していくことが優先課題だとの意見があった。

#### 検討事項3 CSAJ 将来ビジョン検討会の議論再スタートについて

原洋一理事・事務局長より、CSAJ将来ビジョン検討会の議論を全理事に向け再スタートする旨、説明があった。

CSAJ将来ビジョン検討会の実施

・全理事参加によるSlackの活用

（理事会終了後招待メールを送付）

・定期的議論の場（リアル）を開催

・来年度に向けた方向性を出す、順次可能なものは実施

なお、荻原紀男会長からは、新理事も増えてあらたな体制になったので、全理事にはビジョン検討会に参加してほしい。まずは、slackに皆さんを招待するので、意見をどんどん書き込んでほしい。そして、CSAJの未来像については、理事会の場もしくは別途会合をもって意見交換をし

たい。さらには、来年の終わりぐらいまでに合宿などもして検討をしていきたいとのコメントがあった。

### 報告事項1 文部科学省「令和3年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者」の推薦依頼

笹岡賢二郎専務理事より、科学技術賞、若手科学者賞及び研究支援賞の受賞候補者の推薦について経済産業省より案内があり、総務委員会での検討を踏まえて1社5名の候補者を経済産業省に推薦した旨、報告があった。

### 報告事項2 電子インボイス推進協議会の設立について

岡本浩一郎理事より、電子インボイス推進協議会の設立の背景と、2023年に向け民間として団体を設立し、電子インボイスを推進していく旨説明があった。あわせて、年内には電子インボイスの標準規格を策定し、事務局機能はCSAJに依頼する旨、報告があった。

電子インボイス推進協議会の設立についての主な意見は以下の通り。

- ・CSAJで会員企業が団結して、いい世の中を作るという思いを持って、新しい取り組みを進めていくことを応援したい。
- ・簡素化されたわかりやすい仕組みになると、世の中も変わっていくため、全面的に協力していく。
- ・CSAJとつながった状態で電子インボイス推進協議会を運営していきたいと思う、またこれからのような活動が増えることを期待したい。
- ・イタリアでの事例がある通り、公平公正な租税の仕組みをシンプルに実現できると思っている。社会的システムのデジタル化や効率化に関しては、会員企業の皆様に積極的に参加して意見交換して欲しい。
- ・世の中が便利で豊かになるためにはシステムに頼らざるを得ない。最終目的は、税収の確保と、利便性の高い社会の実現の為にも、電子インボイスの推進は重要である。

### 報告事項3 その他

その他の事項について、笹岡賢二郎専務理事より資料に基づき報告があった。

1. 後援名義等使用申請
2. 今後予定しているセミナー等
3. セミナー等終了報告
4. 今後のスケジュール

最後に荻原紀男会長より、9月25日の「会員感謝の集い」での催し物を期待しているとの意見があった。

伊藤裕二副会長より、人材委員会を開催した際には、会員勧誘をして入会した新規企業も委員会活動に参加してもらったので、このような意見交換の場を作ることが重要と思うとの意見があった。

小川敦理事より、7月30日にアライアンスビジネス交流会をJCSSAと初めて共催することとなり、さらには初めてのオンラインの開催となる旨の報告があり、各方面への周知を依頼した。

議長が以上をもって本日の議事が終了した旨を述べ、散会した。

なお、議事の経過及び決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事・会長及び監事がこれに記名押印する。

令和 年 月 日

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

代表理事・会長

印

監事

印

監事

印